

# NEWS RELEASE

憧れを、かたちに。



2020年12月24日

三井ホーム株式会社

## 鹿児島カラー「かごんまの色®」<sup>※1</sup>を採用した鹿児島モデルハウス「ANGLEY（ラングレー）」が 第23回 グッド・ペイントイング・カラー 最優秀賞を受賞

三井ホーム株式会社（本社：東京都新宿区、社長：池田 明）のグループ会社である三井ホーム鹿児島株式会社（社長：井津上 晴士）は、鹿児島大学と共同研究開発した、鹿児島カラー「かごんまの色®」を採用した鹿児島モデルハウス「ANGLEY（ラングレー）」が「第23回 グッド・ペイントイング・カラー」内装部門において最優秀賞を受賞したことをお知らせいたします。

※1.「かごんまの色®」は、牧野暁世特任助教が代表を務める「鹿児島大学 環境色彩学研究会」の研究成果で、鹿児島大学の登録商標です。詳細は下記鹿児島大学HPをご参照ください。

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/topics/2019/09/post-1603.html>

### 【受賞概要】

物 件 名 鹿児島モデルハウス「ANGLEY（ラングレー）」

受賞内容 内装部門 最優秀賞（鹿児島県初）

受 賞 者 三井ホーム鹿児島株式会社 児島 伸幸

三井ホーム株式会社 インテリアコーディネーター 中岡 好美

鹿児島大学 特任助教 牧野 暁世



鹿児島モデルハウス「ANGLEY（ラングレー）」外観

### 【受賞作品について】

鹿児島における伝統色には、「瑠璃色」をはじめ美しいものがたくさんあります。当社は、鹿児島らしいインテリアを取り入れた住宅を企画したいという想いから、鹿児島大学が開発したカラーSET「かごんまの色®」をインテリア壁に採用しました。また、県産木材や伝統工芸品（大島紬・薩摩切子など）も設え、鹿児島の独自色を強く打ち出しました。

今回の受賞では、鹿児島の伝統・文化から生まれた「かごんまの色®」を現代の住まいに取り入れることで地方創生に寄与し、地域に根ざしたユニークな取り組みであることを評価いただきました。

「かごんまの色®」18色		
かごんまの赤 さごんまのせいろ	かごんまの黄緑 くろのせいろ	かごんまの紫 せうじゆ
かごんまの紅 かいかう	かごんまの緑 おあいみだいいろ	かごんまの青紫 かうしきいろ
かごんまの薄緑 めこいいろ	かごんまの青緑 おがわんたきいろ	かごんまの緑色 さくらいろ
かごんまの橙 きんかいろ	かごんまの水色 きんこうわいいろ	かごんまの白 からがんいろ
かごんまの茶 あくまいいろ	かごんまの青 あいおほしまいろ	かごんまの灰色 はいいろ
かごんまの黄 てげでいろ	かごんまの珊瑚色 るりかげいろ	かごんまの黒 かごんまのくろ

### 【グッド・ペイントイング・カラーとは】 <https://www.toryo.or.jp/jp/consumer/goodpainting/>

豊かで快適な生活環境づくりの一環として、塗装仕上げによる優れたカラープランニングの作品を公募し、優秀作品のカラーブランナーを表彰するグッド・ペイントイング・カラー委員会主催の「環境色彩コンペティション」です。

## 【鹿児島モデルハウスで採用した「かごんまの色®」のご紹介】



### ① 1階リビングルーム「かごんまの瑠璃色（るりかけすいろ）」



大空間リビング・ダイニングの壁には、「かごんまの瑠璃色」を採用しました。深く美しい「かごんまの瑠璃色」の力で、壁自体がアートになりました。この色は、天然記念物でもある県鳥「ルリカケス」の羽衣からいただいたもの。まさしく、かけがえのない鹿児島県の宝です。

かごんまの瑠璃色 | るりかけすいろ (ルリカケス色)



7.5PB3/10  
C100 M85 Y0 K0  
DIC-C269

「るり」とは仏教において七宝の一つとして珍重される青い宝石のこと。その名を冠するこの鳥は、奄美大島、加計呂麻島、諸島の固有種で、天然記念物でもある鹿児島の宝だ。冴え渡る青と赤褐色の、艶やかな二色の羽衣を纏い、身をよじるたび光の対流が起きる。その衣の境目は、夜明け前、あるいは日が暮れる瞬間の空のような、絶妙なグラデーションだ。

ここでは「るりかけす」の名に準じ、代表的な体色である紫がかった青色を指す。

### ② 2階キッズコーナー「かごんまの薄橙（めごいろ）」



キッズコーナーの一面には、優しさと可愛らしさが融合した「かごんまの薄橙（めごいろ）」を採用しました。「めご（目籠）」は目の詰まった美しい編み目の竹籠を指し、今でも衣食住に欠かせない地域の特産品です。長く使うことで変わっていく色に対する先人の物への愛情が感じられます。

かごんまの薄橙 | めごいろ (目籠色)



2.5YR7/6  
C0 M40 Y40 K0  
DIC-C88

鹿児島県は、神話の時代から竹と深く関わってきた。

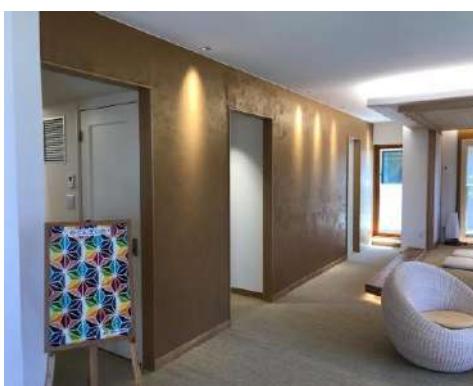
縄文時代の土器にも竹の跡が発見されている。

「めご」は目の詰まった美しい編み目の竹籠を指し、今でも衣食住に欠かせない道具。

地元で愛されている「茶碗蒸しの歌」にも登場するほどである。

この色は、使われ続けて味わい深く成長し、ぬくもり繭った「めご」の薄橙を表している。

### ③ 2階ホール アクセントウォール 「かごんまの色® 展開色」



2階ホールのアクセントウォールに隣接した和室の県産檜、石材と調和する「黄金壁」を採用しました。この色は、デザインの現場で開発したもの。モアレ塗装にする事でより華やかな「黄金壁」になりました。今後は、鹿児島大学の「かごんまの色®」の展開色として位置づけられる予定です。

鹿児島県には日本一の金産出量を誇る「菱刈金山（ひしかりきんざん）」、そして奇麗を表す地域の言葉、「きんごきんご」があります。地域の誇りをいつまでも持っていて欲しいという祈りを込めた色です。

本件に関するお問い合わせ先

三井ホーム株式会社 広報部 広報グループ： 03-3346-4649